

# 第88期中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

# 北電



# 第88期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

## CONTENTS

### 目次

- 株主のみなさまへ ..... 3
- 事業の概況 ..... 4
- 連結財務諸表 ..... 6
- 志賀原子力発電所では津波等に対する  
「安全強化策」を着実に実施しております。..... 8
- 北電トピックス ..... 10
- 北陸電力グループの紹介 ..... 11
- 北陸の手仕事 ～創る人がいる～ 越前竹人形 ..... 12
- 株主information ..... 14

### ■表紙

## 北陸の手仕事 ～創る人がいる～ 越前竹人形

冬はしんと冷え込む福井県・越前の地では良質の竹が生まれ、古くより竹工芸がさかんでした。ある時、その切れ端を利用して人形ができないかと考えた人がいました。こうして日本が高度成長期へと向かっていく頃、越前竹人形は師田保隆・三四郎兄弟の手によって確立されたのです。

そのシンプルなラインからは想像が及ばないほど精巧な技術が集結された竹人形は、日本人のこころにしみわたる温かみを秘めています。



■越前竹人形「虹映え」

# 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

現在、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響やエネルギー政策の見直し議論など、当社を取り巻く経営環境は不透明ではありますが、グループの総力を挙げて、電気事業者の社会的使命である電力安定供給確保、志賀原子力発電所の更なる安全性向上および経営基盤の強化に取り組んでおります。

今夏は、原子力発電所の運転停止が継続する厳しい状況の中、お客さまに節電にご協力いただくとともに、様々な供給面での対策を講じた結果、安定的な電力供給を確保することができました。

今冬につきましては、今夏と同様に、火力発電所の補修時期を調整するなど供給面での対策により、供給予備率は総じて8%程度を確保できる見通しとなりましたが、気温影響などで需給状況が厳しい状態になる可能性もあることから、お客さまには、引き続き、電気の効率的なご使用につきましてご協力をお願いしてまいりますので、株主の皆さまにも、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

また、志賀原子力発電所におきましては、緊急時の「電源確保」、「除熱機能の確保」および「発電所敷地内への浸水防止」等の観点から、津波等に対する「安全強化策」を着実に進めております。その一つである「防潮堤」は、本年10月に工事を開始し、来年秋頃の工事完了を予定しております。

原子力は、将来にわたる安定供給確保やCO<sub>2</sub>抑制の観点から、重要な役割を果たしていると考えております。

今後も、志賀原子力発電所の「安全強化策」を確実に実施するとともに、地域の皆さまに丁寧にご説明し、ご安心とご理解をいただけるよう努めてまいります。

更に、先般、「東京電力に関する経営・財務調査委員会報告(第三者委員会報告)」が公表されましたが、当社では、これまでの数次にわたる経営効率化により、人件費をはじめコスト削減策の多くの部分を既に実施しており、電力トップレベルの低コスト構造と電気料金水準を実現いたしております。

今後も、一層の効率化に向けた取組みを推進し、経営基盤の強化を図ってまいります。

当社グループは、皆さまから「信頼され選択される北陸電力グループ」を目指し、地域の皆さまとの協働のもと、更に成長・発展してまいりたいと考えております。

中間配当につきましては、収支状況は厳しいものの、安定配当継続の方針に基づき、1株につき25円とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループに対し、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成23年11月

取締役会長 永原 功

取締役社長 久和 進

# 事業の概況

## 収支の状況

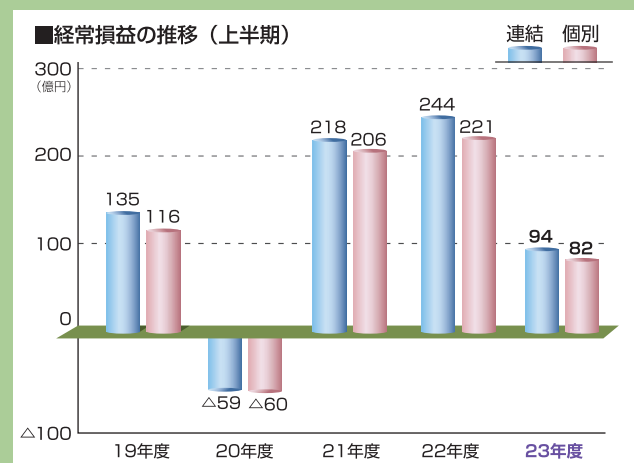
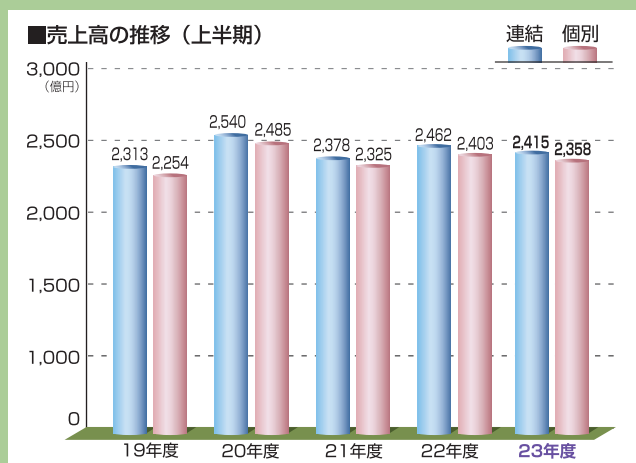
当上半期の我が国経済は、東日本大震災直後の企業の業況感や家計のマインドの落ち込みが改善し、全体として持ち直しの動きが続いています。生産活動は、供給面の制約がほぼ解消する中で増加を続け、個人消費も、一部に弱さが残っているものの、全体として持ち直しております。北陸地域においても同様の状況で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当上半期の連結収支につきましては、収益面では、電気事業において記録的猛暑となった前年同期の冷房需要増の反動減などにより販売電力量が減少したことや、他の

電力会社への販売電力収入が減少したことなどから、売上高(営業収益)は2,415億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は、前年同期に比べ59億円減の2,430億円となりました。

一方、費用面では、電気事業において原子力発電量の減少により燃料費が増加したことなどから、経常費用は前年同期に比べ90億円増の2,335億円となりました。

以上により、当上半期の経常利益は94億円、純利益は38億円となりました。

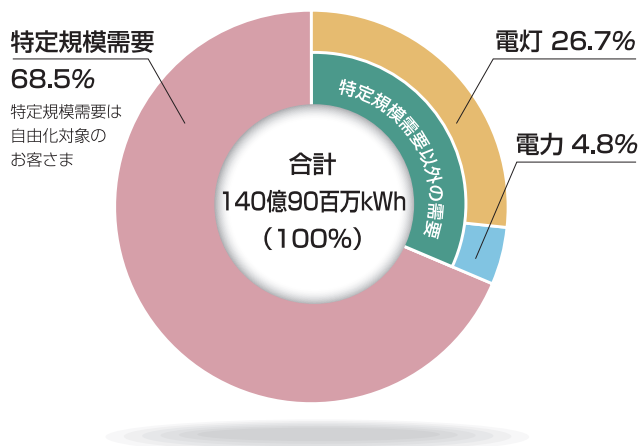


## 販売の状況

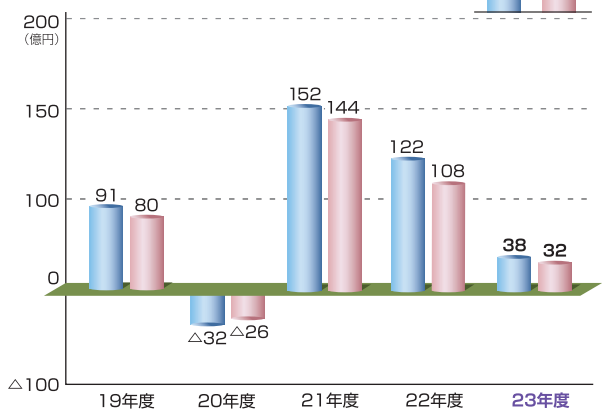
当上半期の販売電力量につきましては、電灯および業務用は記録的猛暑となった前年同期の冷房需要増の反動減や節電の影響などから、前年同期を下回りました。また、産業用その他は、大口電力で機械器具製造業や鉄鋼業などは前年を上回ったものの、全体としては前年同期並みとなりました。

この結果、販売電力量は140億90百万キロワット時（うち特定規模需要96億55百万キロワット時）となり、前年同期と比較すると2.4%の減少となりました。

### ■当上半期販売電力量の構成比

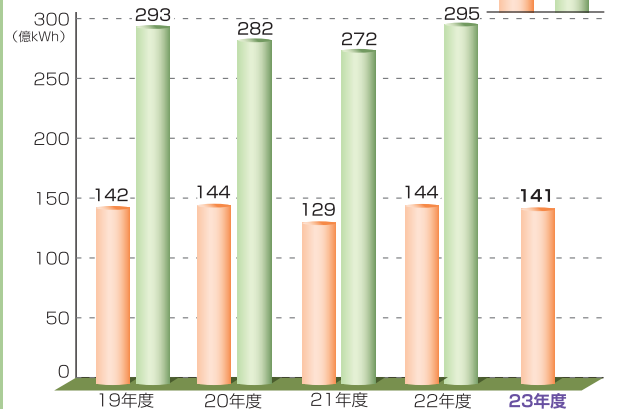


### ■純損益の推移（上半期）



(注) 億円未満四捨

### ■販売電力量の推移



(注) 億kWh未満四捨五入

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

資 産 の 部			負 債 及 び 純 資 産 の 部		
科 目	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)	科 目	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)
固 定 資 産	12,119	12,323	固 定 負 債	7,947	8,146
電気事業固定資産	9,303	9,540	社 債	4,386	4,735
水力発電設備	1,169	1,196	長 期 借 入 金	2,166	2,012
火力発電設備	1,207	1,242	流 動 負 債	2,286	2,048
原子力発電設備	2,334	2,452	1年以内に期限到来の固定負債	1,106	1,109
送 電 設 備	1,787	1,828	短 期 借 入 金	165	150
変 電 設 備	907	903	引 当 金	94	69
配 電 設 備	1,520	1,531	負 債 合 計	10,328	10,265
固定資産仮勘定	288	268	株 主 資 本	3,497	3,511
核 燃 料	920	897	資 本 金	1,176	1,176
投資その他の資産	1,307	1,310	資 本 剰 余 金	339	339
流 動 資 産	1,740	1,488	利 益 剰 余 金	2,013	2,027
現金及び預金	759	739	自 己 株 式	△32	△32
受取手形及び売掛金	405	382	その他の包括利益累計額	34	35
たな卸資産	349	210	純 資 産 合 計	3,532	3,546
合 計	13,860	13,811	合 計	13,860	13,811

## 四半期連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

費用の部			収益の部		
科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業費用	2,262	2,132	営業収益	2,415	2,462
電気事業営業費用	2,208	2,073	電気事業営業収益	2,346	2,391
その他事業営業費用	54	58	その他事業営業収益	68	70
営業利益	(152)	(329)	営業外収益	15	27
営業外費用	73	113	四半期経常収益合計	2,430	2,490
四半期経常費用合計	2,335	2,245			
四半期経常利益	94	244			
渴水準備金引当又は取崩し	24	20			
特別損失	—	23			
税金等調整前四半期純利益	70	200			
法人税等	31	77			
四半期純利益	38	122			
(参考)四半期包括利益	38	104			

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	147	620
税金等調整前四半期純利益	70	200
減価償却費	412	439
投資活動によるキャッシュ・フロー	△306	△418
財務活動によるキャッシュ・フロー	178	△802
社債・借入金等の純増減額	231	△749
自己株式の取得・売却	△0	△0
配当金の支払額	△52	△53
現金及び現金同等物の増減額	19	△600
現金及び現金同等物の期首残高	739	1,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	759	535

## 連結子会社（11社）

- 日本海発電（株）
- 北電情報システムサービス（株）
- 北陸発電工事（株）
- （株）北陸電力リビングサービス
- 北電テクノサービス（株）
- 北電パートナーサービス（株）
- 日本海コンクリート工業（株）
- 日本海環境サービス（株）
- 北陸通信ネットワーク（株）
- 北電技術コンサルタント（株）
- 北電産業（株）
- （平成23年9月30日現在）

## 持分法適用会社（2社）

- 北陸電気工事（株）
- （株）ケーブルテレビ富山
- （平成23年9月30日現在）

# 志賀原子力発電所では津波等に対する「安全強化策」を

## ～「防潮堤の工事着工」および「安全強化策の進捗状況」について～

当社は、今回の震災による福島第一原子力発電所の事故を受け、緊急時の「電源確保」及び「冷却機能の確保」、「発電所敷地内への浸水防止」等の観点から、志賀原子力発電所における津波等に対する「安全強化策」をひとつひとつ着実に実施しております。

10月5日には、「安全強化策」の一つである「防潮堤」の工事を開始いたしました。

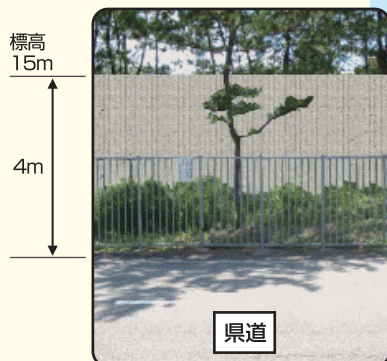
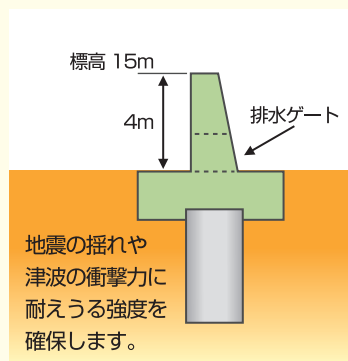
さらに、新たに追加した対策も含め、順次、信頼性向上のための安全対策を実施しております。（進捗状況は右表のとおり）

今後も、今回発生した事故に係る一層の解明が進められるものと考えており、その詳細な内容、原因を踏まえた対策についても的確かつ誠実に対応してまいります。

### 【防潮堤の工事概要】

発電所敷地内への浸水を防ぐため、鉄筋コンクリート造の擁壁（全長約700m、高さ4m、標高15m）を設置する工事を開始しました。

（平成24年秋完了予定）





# 着実に実施しております。

## 【津波等に対する安全強化策の進捗状況】(9月末現在)

	緊急安全対策(4月中にすべて完了)	更なる対策(平成24年度末までに完了予定)
敷地内浸水時の対策	電源確保	<p>①非常用電源(大容量)の配備【準備中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大容量電源車(空冷式)の配備</li> <li>・必要資機材(ケーブル等)の配備</li> </ul> <p>②外部電源早期復旧による所内電源の確保【完了】</p> <p>③外部電源の信頼性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての送電線を各号機に接続し、外部電源供給の信頼性を更に向上【準備中】</li> <li>・免震金具の取り付け【完了】</li> </ul>
	冷却機能確保	<p>②消火系ラインによる原子炉への注水手段の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防車の配備</li> <li>・海水水源用の水中ポンプ、ホース等の配備</li> </ul> <p>③格納容器ベントの信頼性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主蒸気逃がし安全弁駆動用予備ポンベの追加設置</li> <li>・格納容器ベント弁駆動用予備ポンベの追加設置</li> </ul> <p>④消火系ラインによる使用済燃料貯蔵プールへの注水手段の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防車の配備</li> <li>・海水水源用の水中ポンプ、ホース等の配備</li> </ul> <p>④浸水した原子炉補機冷却系ポンプの機能回復手段の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水した電動機の洗浄・乾燥用の資機材(洗浄装置、乾燥機、クレーン等)の配備【完了】</li> <li>・原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却ポンプの予備電動機の配備【手配中】</li> </ul> <p>⑤水源の多様化(大容量水源である大坪川ダムからの取水)【完了】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取水用の水中ポンプ、ホース等の配備等</li> </ul> <p>⑥原子炉補機冷却海水ポンプ代替品の配置【準備中】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大容量水中ポンプ、ホース等を配備し、原子炉の熱除去を可能とする対策を更に多様化</li> </ul> <p>⑦消防車1台追加配備【手配中】</p> <p>⑧ディーゼル駆動消火ポンプ燃料タンク大容量化【準備中】</p> <p>⑨消火系ラインの耐震裕度向上【工事中】</p> <p>⑩格納容器ベント専用電源の設置【準備中】</p>
	その他強化策	<p>⑤津波に起因する緊急時対応のための機器、設備の点検</p> <p>⑥緊急時対応手順の確認</p> <p>⑦緊急時対応訓練の実施</p> <p>⑪防災施設・資機材等の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時対策棟の設置【準備中】</li> <li>・防災資機材専用倉庫の設置【準備中】</li> <li>・モニタリング設備の強化【手配中】</li> <li>・個人線量計の追加配備、高線量対応防護服の配備【完了】</li> <li>・構内主要アクセス道路の補強【工事中】</li> <li>・復旧作業用クレーン車の常設【完了】</li> </ul> <p>⑫がれき撤去用重機の配備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホイールローダの配備【完了】</li> <li>・ブルドーザの配備【手配中】</li> </ul> <p>⑬原子炉建屋水素排出設備の設置【準備中】</p> <p>⑭緊急時協力会社集合棟の設置【準備中】</p>
	敷地内への浸水防止策	<p>⑧原子炉建屋の防水機能の確認</p>

■ : すでに完了した対策 赤字 : 9月に新たに追加した対策

## 低炭素社会の実現に向けた取組み

### 富山新港火力発電所LNG1号機開発計画

当社は、富山新港火力発電所石炭1号機(25万kW)をリプレースし、LNG(液化天然ガス)を燃料とするコンバインドサイクル発電(LNG1号機:40万kW級)の平成30年度の運転開始を目指して進めています。

本年7月に「富山新港火力発電所石炭1号機リプレース計画 環境影響評価方法書」を国へ届け出るとともに関係自治体へ送付し、環境影響評価の手続きを開始しました。

コンバインドサイクル発電の導入により、一層の電源多様化による安定供給の確保と、更なるCO<sub>2</sub>排出量削減により、低炭素社会の実現に貢献するものと考えています。



#### 〈開発計画の概要〉

設備概要	LNG1号機		発電規模:40万kW級 発電方式:コンバインドサイクル発電
	LNG燃料設備		タンク規模:18万kL級×1基 タンク型式:プレストレストコンクリート®地上式
	LNGバース		受入船クラス:15万m <sup>3</sup> 級
主要工程	LNG1号機	環境影響評価開始	平成23年7月28日(方法書届出)
		着工時期	平成27年度(予定)
		運転開始時期	平成30年度(予定)
	石炭1号機	廃止時期	平成29年度(予定)

※プレストレストコンクリート:コンクリートにあらかじめPC鋼材で圧縮力を加え、荷重を受けたときにコンクリートのひび割れを防ぐようにしたもの。

### 志賀・富山太陽光発電所運転開始

当社は、再生可能エネルギー導入拡大の一環として、メガソーラー発電所の建設を進めています。

本年3月に北陸電力初のメガソーラー発電所である志賀太陽光発電所が運転を開始し、4月には富山太陽光発電所が運転を開始しました。

今後、珠洲太陽光発電所および三国太陽光発電所は、平成24年度に運転を開始する予定です。

#### 〈メガソーラー発電所の概要〉

名称	出力	運転開始	発電電力量	CO <sub>2</sub> 削減量
志賀太陽光発電所	1,000kW	平成23年3月	100万kWh/年程度	0.03万t-年程度
富山太陽光発電所	1,000kW	平成23年4月	100万kWh/年程度	0.03万t-年程度
珠洲太陽光発電所	1,000kW	平成24年度	100万kWh/年程度	0.03万t-年程度
三国太陽光発電所	1,000kW	平成24年度	100万kWh/年程度	0.03万t-年程度

※100万kWh/年程度は、一般のご家庭約250軒分の年間ご使用電力量に相当します。

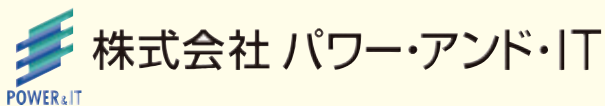


志賀太陽光発電所



富山太陽光発電所

# 北陸電力グループの紹介



富山市(富山空港・北陸自動車道富山ICから至近)  
TEL(076)461-7850 FAX(076)461-7851  
ホームページ <http://www.powerandit.co.jp/>

今年6月から営業を開始しました

北陸地域で最大級の規模(総床面積:約6,300㎡)と  
最高レベルの信頼性・省エネ性を誇る

「次世代型データセンター」で

お客さまの大切なシステムをお預かりします。

## 【会社概要】

設立年月日:平成21年8月11日

代表者:取締役社長 大庭 正幸

資本金:495百万円

従業員:10名(平成23年9月現在)



## 次世代型データセンターの特長

データセンターに求められる安全・安心を  
高いレベルでご提供します。

### ■万全の災害対策

- ・非常時に対応可能な電源設備
- ・地震や水害など自然災害に強い免震(※)・高床構造

### ■セキュリティシステム

- ・24時間常時監視, 生体認証による入室管理

### ■高い環境性

- ・高いエネルギー効率, 自然エネルギーを利用した省エネ設備
- ・ビルマネジメントシステムによるエネルギー管理

## サービスメニュー

事業継続計画(BCP)対策など,  
様々なお客さまニーズにお応えします。

### ■ハウジングサービス

サーバーを収容するラック(棚)をご提供

### ■ケーシングサービス

錠設置の柵で囲まれた専用スペースをご提供

### ■コロケーションサービス

パーテーション等で仕切った専用部屋をご提供

ご要望に応じて, 運用業務なども承ります

※「免震対策」: 建物基礎部に5種類の免震装置を設置し, 大地震発生時でも機能を損なわない建物としています

地震の揺れを変形(伸縮・回転)して吸収し, 建物に伝わりにくくします



積層ゴム支承



弾性すべり支承



直動ころがり支承

地震による揺れのエネルギーを吸収します



オイルダンパー



鉛ダンパー

## 北陸の手仕事～創る人がいる～ 越前竹人形

若竹のように伸びやかに、新しい境地へと進化していく



昭和38年発表の水上勉氏の小説や映画で知られる「越前竹人形」は、地域密着型の産業として発展してきました。今回は、全国に手作りの温かみを届けている越前竹人形について、ご紹介します。



職人達が集う越前竹人形工房「箆(かがり)」では、職人が黙々と竹を加工している様子が見られる

### 遊び心から始まった、新しい工芸品

全国有数の雪国である福井県・越前地方。厳しい寒さに耐えた良質の真竹に恵まれたこの地では、古くより竹を利用したカゴや花器などの製作が栄えてきました。

そのような土地柄で、昭和27年頃「竹の切れ端で人形ができないか」と趣味的に考えたのが、越前竹人形の祖・<sup>もろた</sup>師田保隆、三四郎兄弟でした。試行錯誤の末、ユーモアあふれる「音楽人形」などを製作、昭和30年「全国竹製品展」で中小企業長官賞を受賞します。さらに「全国新製品展」でも農業経済局長賞を受賞し、新しい特産品として注目を集めることに。そして水上勉氏の小説「越前竹人形」の題材として有名になり、映画化もされて、一大ブームを巻き起こしたのです。



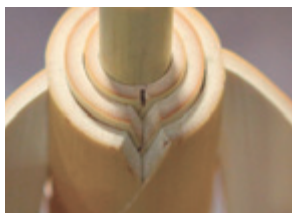
「越前竹人形の里」の周りには、情緒あふれる竹林がある



越前竹人形初期の「音楽人形」。まるで音が聞こえてきそうな躍動感が楽しい



髪の毛に使用する極細の竹は、2分割から始まり4分割、16分割…と割っていく



着物の襟は、外側の竹にぴったりはまる竹を選定する。いかに美しく合わせるかが、職人の腕の見せどころだ



越前竹人形の技術を飛躍的に進化させた故・師田黎明氏の作品。髪表現が素晴らしい「笹鳴り」(左)、節の間の長さを活かした「萌筍」(右)。「萌筍」の首が足より細いのは、細く割っていく際に上の方を削っているからだそう。その細かさは、見る者を驚愕させる

## 丹念で精緻な作業を 繰り返し、芸術品へと昇華

500~600種類にも上る竹の種類の中で越前竹人形によく使われるのは、真竹、孟宗竹、女竹です。秋に切った3年生の竹を3年ほど寝かせて乾燥させ、一定の長さに切って分けてから製作します。

越前竹人形の真骨頂は、なんといっても竹を細く割る緻密な技術です。髪の毛は竹を鉋で0.2~0.25ミリまで細かく割って1本ずつ植毛するという、たゆみない努力を要するものなのです。



手作りの木型で各部品が同じ形になるようカット



サンドペーパーで表面を削り、面を取って滑らかにするなど修正を行う



それぞれの種類の人形ごとに、細かい細工や、薄皮を彫って模様を描く。



それぞれのパーツを接着しながら組み立てて、最後に艶出しをして完成

## 可能性豊かな伝統工芸として、 さらなる飛躍に期待

「ブームの時には、それに触発された多くの職人志願者がいました。しかし正直、玉石混淆だったようです」と、越前竹人形協同組合理事長の師田龍一郎さん。現在では、この地に骨を埋める気概のある人でないと、入門を認めないそうです。

「今後は、竹とほかの素材とを組み合わせた製品へと裾野を広げていきたい」と語る師田さん。まだ若いこの伝統工芸は、これからも確かな歴史を刻んでいくことでしょう。



工房「箆」や展示場などがある「越前竹人形の里」では、地元の子供たちが竹とんぼや竹人形などを体験実習することもある

## Close-up Craftsman

この一点を望む人のために、自ら技を切り拓いていく

デザイナー経験を活かし、新たな着眼点で越前竹人形の未来を牽引する、「箆」工房長・道明さんにお話を伺いました。



竹人形製作の道具。このように数少ない道具から、きめ細かく美しい人形が生まれていく

福井県の大学を卒業後、地元でグラフィックデザインをしていました。十年ほど勤めましたが、消費されて終わりという広告の世界に疑問を持つように。「残るモノ」の製作に携わりたいと思い、学生時代居心地の良さを感じていたここに移住しました。

越前竹人形は伝統工芸としてまだ半世紀程度の歴史しかないのに、表現や技も未知数です。先人も少ないので、教わることもできません。だからこそ、自分で技術を向上させて、今後さらに後進がその技を発展させていくことができます。また、自然の素材なのでふたつとして同じものはありえない。そこが、越前竹人形の職人としての面白みですね。

### 越前竹人形工房「箆」工房長

道明さん

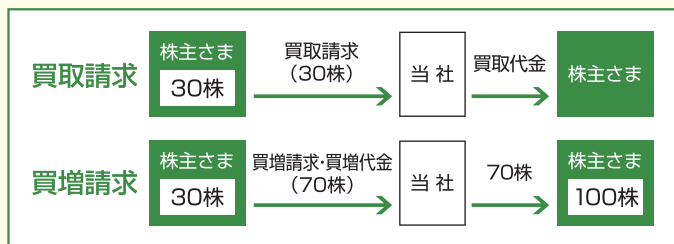
昭和41年大阪府生まれ。大学卒業後、大阪でグラフィックデザイナーとして活躍。平成12年「越前竹人形の里」に入門し、平成19年、「豆大将」にて第47回全国推奨観光土産品審査会(民芸の部)国土交通大臣賞を受賞。平成20年工房「箆」工房長に抜擢される。



## 単元未満株式（1～99株）をご所有の株主さまへ

単元未満株式（1～99株）は、証券市場での売買ができませんが、単元未満株式の買取請求・買増請求制度をご利用いただくことができます。なお、当社では、これらの請求にかかる手数料を無料としておりますので、単元未満株式の整理に是非ご活用ください。

例 株主さまが単元未満株式を30株ご所有の場合



### ■単元未満株式の買取請求制度

株主さまのご請求により、100株未満の株式を当社が買い取らせていただく制度。

### ■単元未満株式の買増請求制度

株主さまのご請求により、ご所有の単元未満株式と合わせて1単元（100株）となるように、当社から単元未満株式をお買い増しいただく制度。

※証券会社の口座に単元未満株式をご所有の株主さまは、口座を開設された証券会社でお手続きください。なお、証券会社での手数料がかかる場合があります。

## 特別口座に当社株式をご所有の株主さまへ

特別口座は、証券会社の口座とは異なり、ご所有の株式を、ご家族へ譲渡（名義書換）したり、証券市場で売却したりすることができません。譲渡や売却をご希望の場合は、あらかじめ証券会社に株主さまご本人名義の口座を開設し、特別口座から証券会社の口座へ株式を振替えておく必要があります。株式の振替が完了した後に、譲渡や売却のお手続きが可能となります。

※特別口座：平成21年1月実施の「株券の電子化」に伴い、それまでに証券会社の口座にお預けになっていない株主さまの当社株式を管理するために、当社が住友信託銀行に開設した口座です。

※証券会社での口座開設、譲渡および売却のお手続きにつきましては、証券会社へお問い合わせください。

### 単元未満株式の買取・買増請求、口座振替、配当金振込先指定等のお手続きのお問い合わせ先

#### <証券会社に口座を開設されている株主さま>

口座を開設された証券会社にお申出ください

#### <特別口座をお持ちの株主さま（証券会社に口座を開設されていない株主さま）>

住友信託銀行株式会社 証券代行部 **0120-176-417**（通話料無料）にお申出ください

## 配当金を「配当金領収証」でお受け取りの株主さまへ

### ～配当金のお受け取りには、安全・確実・便利な「口座振込」をおすすめいたします～

配当金のお受け取り方法を口座振込にされると、ご指定の口座にお振込いたしますので、郵便局等へお受け取りに行ってください。必要がなく、また、お受け取り忘れの心配もありません。口座振込には、下記の方法がありますので、是非ご利用ください。

#### ■銀行等の口座で配当金をお受け取り

##### ○ご所有の銘柄ごとに振込口座を指定（個別銘柄指定方式）

ご所有の銘柄ごとに、銀行等の口座をご指定いただき、配当金をお受け取りいただく方法です。

※銘柄ごとに、配当金の振込口座を指定するお手続きが必要となります。

##### ○ご所有の全銘柄の配当金について振込口座を1つ指定（登録配当金受領口座方式）

ご所有の全銘柄の配当金を、あらかじめご指定いただいた1つの銀行等の口座で一括してお受け取りいただく方法です。

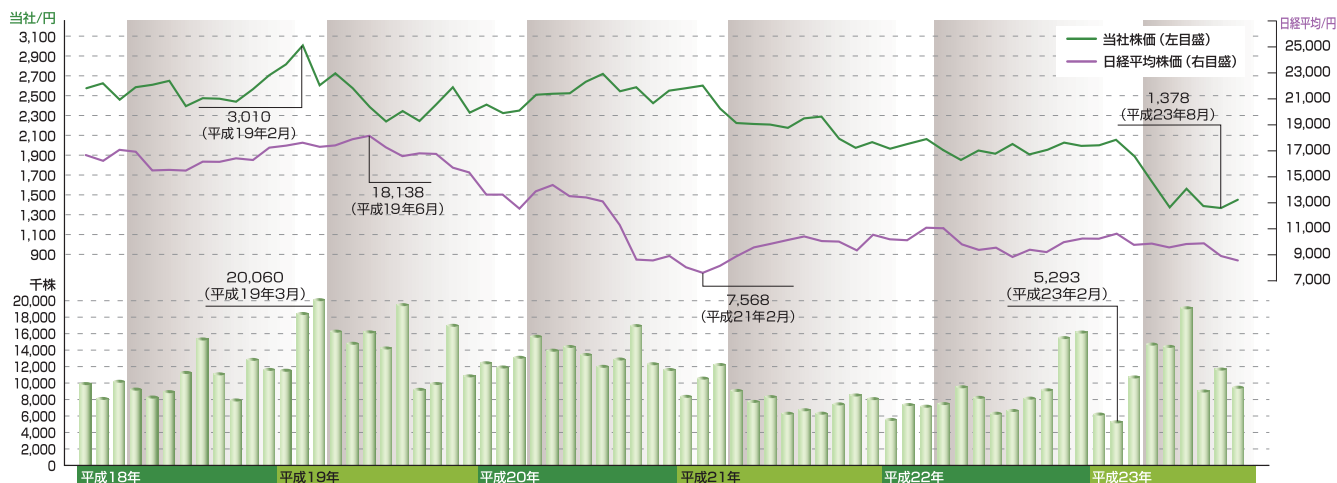
※ゆうちょ銀行の口座はご指定いただけません。1つの銘柄で配当金の振込口座を指定する際に、「登録配当金受領口座方式」を選択してお手続きをされると、その他の銘柄の配当金も当該指定口座でお受け取りいただくことができます。

#### ■証券会社の口座で配当金をお受け取り（株式数比例配分方式）

口座を開設された証券会社の口座で、配当金をお受け取りいただく方法です。同一銘柄の株式を複数の証券会社に分散してご所有の場合は、証券会社ごとのご所有株式数に応じた配当金がそれぞれの口座へ振り込まれます。

※特別口座に株式をご所有の場合は、この方法はご利用になれません。

### ■当社株価（月末終値）および出来高の推移



# 株主information

## 会社概要

(平成23年9月30日現在)

- 設立年月日 昭和26年5月1日
- 資本金 1,176億4,154万9,080円
- 発行可能株式総数 4億株
- 発行済株式総数 2億1,033万3,694株
- 販売区域 富山県, 石川県, 福井県(一部を除く), 岐阜県の一部
- 従業員数 4,554名(出向者等を除く)
- 供給設備
  - 発電所
    - 水力 127か所 出力/190.5万kW
    - 火力 6か所 出力/440.0万kW
    - 原子力 1か所 出力/174.6万kW\*
    - 新工種 5か所 出力/0.7万kW
    - 計 139か所 出力/805.8万kW
  - ※志賀2号機において、整流板を設置して運転の場合
  - 送電線 電線路こう長 3,308km
  - 変電所 199か所 出力/2,900万kVA
  - 配電線 電線延長 12万1,188km

- 主要事業所
  - 本店 富山市牛島町15番1号
  - 地域共生本部 金沢市下本多町六番丁11番地
  - 原子力本部 石川県羽咋郡志賀町高浜町213番地21
  - 富山支店 富山市牛島町13番15号
  - 高岡支社 高岡市広小路7番15号
  - 魚津支社 魚津市新金屋一丁目12番12号
  - 石川支店 金沢市下本多町六番丁11番地
  - 七尾支社 七尾市三島町61の7
  - 小松支社 小松市栄町25の1
  - 福井支店 福井市日之出一丁目4番1号
  - 丹南支社 越前市新町10字東野末1の6
  - 東京支社 東京都港区虎ノ門二丁目8番1号 虎の門電気ビルディング6階

## 役員

(平成23年9月30日現在)

- 取締役会長 永原 功 常勤監査役 高桑 幸一
- 取締役社長 久和 進 常勤監査役 坂本 善成
- 取締役副社長 松岡 幸雄 監査役 犬島伸一郎
- 取締役副社長 堀 祐一 監査役 深山 彬
- 取締役副社長 本林 敏功 監査役 川田 達男
- 常務取締役 若宮 真自
- 常務取締役 荒井 行雄
- 常務取締役 三鍋 光昭
- 常務取締役 金井 豊
- 常務取締役 近谷 雅人
- 常務取締役 塚 宏之

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 配当金の受領株主確定日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
- 単元株式数 100株
- 証券コード 9505
- 公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載して行います。  
(<http://www.rikuden.co.jp/>)

- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関(郵便物ご送付先) 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 【お問い合わせ先】 ☎0120-176-417
- 【ホームページ】 <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

### 株式に関するお手続きおよびお問い合わせ先について

- <証券会社に口座を開設されている株主さま>  
口座を開設された証券会社にお申出ください
- <特別口座をお持ちの株主さま(証券会社に口座を開設されていない株主さま)>  
住友信託銀行 証券代行部 (0120-176-417) にお申出ください



〒930-8686 富山市牛島町15番1号  
電話 076-441-2511(代表)  
<http://www.rikuden.co.jp>  
発行/総務部株式チーム 平成23年11月

